

# 第1回湖南省庁舎整備計画検討委員会

## 議事要約

日時：令和5年12月15日(火)14:00~15:40

場所：湖南省役所東庁舎第2会議室

出席者： 委員6名、事務局7名、

### 開会

#### 1. 挨拶

##### ●総務部長

- 
- ・本市では平成27年度から庁舎整備を進めてきたが、新型コロナウイルス感染症により工事着手を見送っていた。東庁舎整備に向け、昨年度に耐震診断を行い、耐震性がIs値=0.22と極めて低い結果となった。早急に整備が必要と判断し、今年度から基本計画の見直しを行い、庁舎整備を進めていくこととした。
  - ・この間に行政サービスの在り方が大きく変化しており、国においてはデジタル庁が新設され、行政の電子化が進んでいる。また、人件費および建築資材の高騰など社会情勢が大きく変わり、基本計画の見直しについても、これらを踏まえ検討し、整備に向けて進めていきたい。

##### ●事務局

- 
- ・令和5年11月1日付で委員を引き受けて頂き、任期は令和7年3月とする。

#### 2. 委員紹介

##### ●事務局

- 
- ・事務局より出席者の紹介をおこない、出席者が自己紹介をおこなう。

#### 3. 委員長・副委員長の選出

##### ●事務局

- 
- ・湖南省庁舎整備検討委員会設置要綱第5条第2項につき、本検討委員会を設置する。湖南省庁舎整備検討委員会設置要綱第3条第3項につき、委員長・副委員長の選出を行う。

##### ●委員

- 
- ・事務局一任でお願いしたい。

##### ●事務局

- 
- ・事務局一任のご意見を頂いたので、委員長には高田委員、副委員長には山本委員にお願いしたいと考えている。

##### ●委員

- 
- ・異議なし

##### ●委員長

- 
- ・只今から庁舎整備検討委員会を開催したい。みなさまのお立場から忌憚のないご意見を頂きました

い。

## 4. 検討事項

### 1) 庁舎整備概要について(資料1)

#### ●事務局

---

- ・平成 27 年度から東庁舎基本構想・基本計画、基本設計、実施設計と行われてきた。建設資材の高騰、新型コロナウイルス感染症により工事発注を一時見送った。新型コロナウイルス感染症による行動制限や行政手続きによるDX化など国において様々な動きがあった。
- ・このような背景により、前回の基本計画において記載されていた「市民に開かれた誰もが使いやすい庁舎」の部分の見直しが必要であり、庁舎に足を運んで頂かなくても行政手続きが行えるような庁舎に整備していく必要があると考えている。  
また、現存する建物を活用していきたい思いから基本計画の見直しを行いたいと考えている。
- ・小規模多機能自治構想では、小規模多機能自治という行政機能の一部を各中学校区に分散するという考え方を示している。(仮)小規模多機能自治センターで行政手続きが行えるような整備を検討していきたいと考えている。
- ・西庁舎周辺整備としては、機能を東庁舎に集約する考えであるが、現在のサービスより低下しないような施設に整備していく必要がある。
- ・みなさまには新たな計画の基本方針についてご意見を頂ければと思っている。

#### ●委員長

---

- ・平成 27 年度の基本構想から順に実施設計まで行われたが、もう一度再検討を行うという考えでよいのか。

#### ●事務局

---

- ・今回は基本計画の見直しを行う。基本的には踏襲できるものは踏襲し、現在の行政の動きに合致しないことについては見直しを行いたいと考えている。

#### ●委員長

---

- ・前回基本計画では東庁舎の建替えを行う予定としており、既存建物は基本的に解体という考えだった。一方で西庁舎はどのような方針・扱ったのか。

#### ●事務局

---

- ・東庁舎は解体・建替え、西庁舎は現状維持の方針。機能に関しては、西庁舎・保健センターを含めて東庁舎へ集約をするという方針であった。
- ・西庁舎について個別で扱う、機能は前回計画で方針を示したが、建物は個別施設計画の方で整備を行っていく方針であった。

#### ●委員

---

- ・本計画では一からスタートして考えるということか。それとも機能を集約するなど前回計画を踏まえながら検討を行うということなのか。

#### ●事務局

---

- ・行政機能については東庁舎へ集約を行いたい。サービスの提供に関しては、DX化を踏まえて小規模多機能自治構想で示される機能を利用しながら、東庁舎に足を運んで頂かなくても行政サー

ビスを行えるように整備したいと考えている。

●委員

- 
- ・前回計画では西庁舎は個別で検討を行っていたが、本計画では西庁舎も検討範囲に含まれるのか。

●事務局

- 
- ・庁舎整備の方針については、ゼロベースで検討していくという考え方で進めていきたい。前回計画では東庁舎のみが検討範囲であったが、今回は西庁舎周辺を含めて考えて頂きたい。
  - ・前回計画ではなかったDX化の進展や小規模多機能自治の考え方などの観点からも建物の統廃合をどうしていくべきかを議論できればと考えている。

●委員

- 
- ・前回計画がどのような内容であったのか、東庁舎建替えが行われなかった理由の提示はあるのか。
  - ・現庁舎の問題点（防災ハザードマップ関係など）を示して頂き、その問題点の解決法など議論ができればと考えている。

●事務局

- 
- ・東庁舎建替えが立ち止まった経緯については議会においても説明させて頂いたとおり。
  - ・庁舎整備にあたっての条件整理として、前回基本構想・基本計画に記載されているので、資料等を後日配布させて頂きたい。

●委員

- 
- ・西庁舎の行政機能を全て集約するということがだったが、集約する機能規模がどれくらいになるのか、東庁舎の現在の機能規模がどれくらいなのか、小規模多機能自治構想によって分散させる機能規模がどれくらいとなるのか方針をしっかりと示してほしい。

●事務局

- 
- ・西庁舎の教育部、石部保健センターのこども未来応援部については東庁舎へ集約。発達支援室など配慮が必要となる部については個別でヒアリングを行い、配置を決定していきたいと考えている。方針については、検討事項3で後ほど説明させて頂きたい。

●委員

- 
- ・市民に対して行政サービスの低下があると整備が立ち止まってしまうため、市民のコンセンサスが重要であり、慎重に議論を行っていかねばならないと考えている。

## 2)整備に係る湖南省の考え方について(資料2)

●事務局

- 
- ・前回計画見直しの方向性として大きく3つある。
    - 1つ目「これまでの一極集中型の整備からの転機」  
小規模多機能自治構想で新たな形を確立していくためにどのような庁舎が必要となるかを検討していきたいと考えている。
    - 2つ目「持続可能な地域づくりの後押し」  
小規模多機能自治を後押しできるような庁舎整備を検討していきたいと考えている。

### 3つ目「財政負担の軽減」

建替えを前提とせず耐震補強も視野に入れ、ライフサイクルコストを踏まえながら、整備を検討していきたいと考えている。

この3つを踏まえ、残せるものは残し、小規模多機能自治にふさわしい庁舎を整備していきたいと考えている。

- ・前回計画の庁舎整備基本方針（理念）から現状に合わせて見直しを行い、新しく基本方針（理念）として4つ示している。これらについて議論を深めて頂き、4つの基本方針（案）について、どのようなことを行っていくのかを議論して頂きたい。

#### ●委員

---

- ・何を残していくか具体的に考えはあるのか。

#### ●事務局

---

- ・各施設については個別施設計画に示されている方針が前提にあるが、その中でも機能等の集約により統廃合ができるもの、活用できるものなどの検討を行っていききたい。

#### ●副委員長

---

- ・小規模多機能自治の理念についてどういう考えを持っているのか、先進事例など資料で示して頂きたい。
- ・本検討委員会において、庁舎整備のハード面のみを考えていくのか、それともソフト面も含めて考えていくのか、どの範囲まで考えていくのか示してほしい。

#### ●事務局

---

- ・小規模多機能自治構想は、4つの中学校区単位で一定範囲の行政サービスを行い、包括支援センターと併せて提供できるサービスを考えている。
- ・小規模多機能自治構想やDX化、防災拠点などソフト面も踏まえた庁舎にしていけないといけないが、基本的には建物整備に関するハード整備として考えて頂きたい。
- ・小規模多機能自治とは地域に分散して機能を設けるという考えである。その構想の中で小規模多機能自治センターのハード整備を行い、機能を持たせるという考え方である。機能としては、防災と高齢者・子供たちの見守りの2本軸として考えている。それにプラスして東庁舎に足を運んで頂かなくても行政サービスが行えるようにDX化を進めていく方向で考えている。

#### ●委員

---

- ・小規模多機能自治構想の中で分散される機能規模が決まっていない状況で、配置される職員数も定かではない。
- ・西庁舎は廃止するという流れとなっているのか。

#### ●事務局

---

- ・西庁舎は廃止する予定となっている。別計画と併せて、残す機能・集約する機能を検討していききたいと考えている。
- ・昨年度各課の業務量調査を行っており、その結果を踏まえ「行政がすべき仕事（地域で行った方がよい仕事・東庁舎で行った方がよい仕事）」など大きく4つに分類している。地域で行った方がよい仕事は少なく、職員配置も少人数でよいと考えている。

---

●委員

- ・聴覚障がい者の方から手話ができる職員が時短勤務で困っているという意見を聞いている。小規模多機能自治センターに配置する職員が少人数または時短勤務であると利用しにくくなるのではないかと心配している。
- ・また発達支援室や教育委員会が別施設にあるため使いにくいと感じている。

●事務局

- ・専門的資格を持った職員をすぐに配置することは難しく、DX化を普及させサービスをカバーしていきたいと考えている。これからの庁舎整備や小規模多機能自治センター整備では考慮していかなければならない観点の1つであると考えている。

●委員長

- ・それぞれの建物の築年数、規模、課の配置、職員数、耐震性など現状の資料を示してほしい。
- ・現状を把握した次の段階として、東庁舎に集約した時に不足している面積が決まってくると思うので、その分を新しい棟として建築していく流れになると考えられる。
- ・関連している部署などは分散させるとサービスの低下につながると思うので、各課の配置（案）を示してほしい。

### 3)条件整理の進捗状況について(資料3)

#### 4)湖南省庁舎整備計画検討委員会の今後のスケジュールについて(資料4)

---

●事務局

- ・現在の進捗状況としては、課ごとにアンケート調査により連携が必要な課や必要な諸室などの調査を行い、その結果によってグルーピングを行っている状況である。次回にはグルーピング（案）を示したい。
- ・それと並行して、東庁舎の耐震補強を行った時にどれくらいの面積が使えるのか、またそれによって増築棟としてどれくらいの規模が必要なのかの検討を行っている。この案についても次回委員会で示したい。
- ・今後の外部検討委員会のスケジュールについては3か月に1回行う予定をしており、議会前に委員の皆さまからご意見を頂いて議会で市民の皆さまにお示ししていく流れで進めていきたい。

●委員

- ・費用面での比較検討も行えるのか。

●事務局

- ・国が示している㎡当たり単価や他都市で示されている㎡当たり単価等を用い、概算をお示しすることは可能であるが、他都市事例を参考にするとその単価では建設できない場合やその単価より安く建設できている場合も見られるため、それらも考慮しながら比較検討を行っていきたい。

●委員長

- ・コスト比較は必要な判断材料となる。他にも耐震性能や面積などのデータについても示してほしい。

●委員

- ・予算の少ない中で建替え・増築改修を進めていくことは早急に行わなければならないことなの

か。急いで進めることで次世代の子供たちに負担がかかりすぎるのはとても怖いことである。

●事務局

- 
- ・スケジュールについては、基本計画2年、基本設計1年、実施設計1年と前回と同じスケジュールで行う予定である。整備手法も今後検討していくが、整備手法によっても工事期間は変わってくる。
  - ・東庁舎については、耐震診断の結果  $I_s$  値=0.22 であり、いつ地震が起きて行政機能が停止してもおかしくない状況である。耐震性が低い中で行政機能を運営しているということはとても危険な状態であるため、庁舎整備を急ぐ必要があると考えている。
  - ・財源の負担を後世に残さないようにする工夫は考慮していかないといけない。

●委員

- 
- ・当初の費用概算より相当高い費用がかかることは想像できる。

●事務局

- 
- ・本計画で周辺の公共施設についても統廃合の検討を行っていくことで、各新設の維持管理費を抑制させ、後世への財源負担もトータル的には軽減されるのではないかと考えている。

●委員

- 
- ・工事着手はいつ頃から始まり、どれくらいの期間を要するのか。

●事務局

- 
- ・令和9年度から工事着手ができたかと考えている。
  - ・整備手法にもよるが、工事期間は2、3か年と考えている。

●委員

- 
- ・令和9年度に工事着手を行おうと思うと、整備手法はいつ頃までに決めないといけないのか。
  - ・耐震の面で1番リスクが高い建物はどれになるのか。

●事務局

- 
- ・本計画の中で整備手法は決定したいと考えている。
  - ・全ての建物で耐震診断を行ったわけではないが、東庁舎の耐震性が低いことは分かっている状況である。
  - ・他の老朽化が進んでいる施設についても併せて方針を検討していけたらと考えている。この2年間で計画・方針をまとめ、令和7年度からは整備に向けた設計等を行っていききたい。

●副委員長

- 
- ・西庁舎の耐震補強はされていないのか。昭和56年建設のため耐震診断を行っていると考えられるが。

●事務局

- 
- ・西庁舎の耐震性の  $I_s$  値は、最小値で0.47である。

●副委員長

- 
- ・ハード面とソフト面の両方を検討していくとなると、時間もタイトになると考えられる。そのためハード面の整備が必要な部分に関してのみ論点とすることで議論的には深まってよいのではないかと。本委員会では、ライフサイクルコスト、長寿命化、ソフト面をハード面で反映できることを議論していければいいと考えている。

●事務局

---

- ・将来的にはDX化により庁舎に職員の配置が必要なくなる時代が来るかもしれない。現時点では令和9年度に着工すべき庁舎の在り方を考えていけばよいと考えている。

●委員長

---

- ・庁舎としての感染症対策は本計画の中に盛り込まれていないのか。県の施設で地震や風水害だけではなく感染症にも対応できるような計画をしているところがあった。社会情勢が変化したことを考慮するのであれば、感染症対策についても盛り込んでいくべきだと考えている。

●事務局

---

- ・感染症に対し行政機能が止まらないようにするため、防災に強い庁舎の部分で考えていくべきだと考える。資料2の基本方針（理念）2.市民の安全安心な暮らしを支える防災性の高い庁舎の部分に付け加えさせて頂く。

●委員長

---

- ・事務局の方で今回出された宿題について資料を整理して頂き、次回委員会で議論を行っていきたい。

閉会